

いおりまじりかう、う話しをさめますとか時期をきいあけなければなら
ないと思つておつたのを今申しましたこの塵芥焼却場の周辺の整
理をした関係上、条件の一つにまつたわけでございます。折衝の結果、官
方、こうにと、現在の所有地と権利を断ちかうことに決定をされたわけに
ございます。従つてまじり、今月、来月というわけにはいきません、私の任期中に片付
けいもう、たいという条件を付けられたわけでございます。私の任期と言
え、或すとこの一年でございますからこの間には何とか片付けなければな
らぬ、という段階であるわけですが、今工事中であります片舎が完成し、い
いの考えは上でもちろん議会に十分御相談申し上げいひが公益質屋とし
て的地であるかという研究をいたし、と考えたりあります。一応その土地を
解決し、氣に對し、強く要望されいある、こののが質屋の移転問題でござ
います。お互に、安心、間がら、口約束だけでは、感知が、さ、さ、このた、何か
記したものをもち、たいと話すが、たいあるわけでございます。しかしながら
い、い、情勢の他を考へて、さ、さ、さ、当然処置しなければならぬこと

は、私も考え、おなと二つ、いす。是非、かう、う、面を、議会にお、い、も
御、承、願、い、お、ま、た、と、考、え、ま、し、一、寸、わ、き、道、に、れ、れ、ま、し、た、が、二、の、塵、芥
処、理、の、手、算、目、の、お、話、に、つ、い、二、う、し、た、こ、と、を、申、し、上、げ、た、け、い、ま、す。
大、体、多、ク、橋、梁、の、所、か、ら、塵、芥、焼、却、場、に、こ、り、ま、し、一、的、二、千、坪、お、な、け、い、す
が、国、有、地、の、ほ、う、い、げ、と、か、い、わ、い、す、い、に、も、う、用、材、建、設、の、方、に、権、利、金、を、出、し、た
り、替、之、地、を、出、し、た、り、い、れ、い、自、分、の、も、の、に、い、れ、い、お、く、土、地、も、お、な、け、い、統、括、し、い、整、備
い、た、し、ま、し、い、す、と、り、と、全、面、的、に、町、有、地、に、い、れ、い、お、ま、た、と、考、え、い、お、な、け、い
い、い、ま、す、と、う、か、い、う、い、意、味、合、い、に、お、ま、す、い、れ、い、議、会、に、お、か、れ、ま、し、い、も
一、つ、二、の、英、御、承、戴、さ、た、と、存、じ、ま、す。塵、芥、処、理、と、う、面、に、対、し、ま、し、い、は、
先、程、も、申、し、上、げ、ま、し、た、よ、う、に、本、年、度、当、初、手、算、八、百、三、十、六、万、一、千、三、百、三、十、四
い、い、ま、す。す、い、に、使、用、し、い、お、り、ま、す、と、二、の、目、的、車、も、一、定、ま、に、お、い、
お、な、け、い、い、ま、す。現、在、的、三、千、三、百、所、帯、お、な、け、い、い、ま、す、か、二、中
い、百、五、十、所、帯、が、大、に、入、い、お、り、ま、す。塵、芥、の、收、集、に、お、ま、し、い、も、題、一、命、は
マ、い、お、り、ま、す、い、い、と、い、か、く、二、う、い、う、事、業、と、い、う、も、の、は、人、史、を、使、用、し、い、お、な

関係上ならば、お金の「こと」は、なりませんが、なんとも、おれい、きい、は、断りに、いさ
たいと、努力をつく、れい、おな、わけ、です、が、この、御指摘の、点も、あろう、か、と思
います、が、御了、承、戴、さ、た、と思、います、し、承、取、理、費、に、お、さ、す、れい、は、現、在、処
理、場、を、建、設、す、れい、と、す、れい、大、体、組、合、費、に、関、連、し、た、し、れい、い、わ
ゆる、処、理、費、等、に、対、し、す、れい、百、三、十、万、六、千、二、百、四、十、円、計、上、し、た、し、た、次、第、に
ご、さ、す、す。又、葬、場、の、組、合、費、が、二、十、四、万、五、千、八、百、円、に、な、つ、て、お、り、ま、す、が、前、年、に
比、較、し、た、し、す、れい、四、万、三、千、七、百、円、の、増、に、な、つ、て、お、り、ま、す。二、人、は、人、件、費、の、他、の、点、に
お、つ、た、お、な、わけ、に、ご、さ、す、す。産、業、経、済、費、の、面、に、一、言、申、し、上、げ、つ、た、お、な、の
レ、ジ、ン、ご、さ、す、が、大、体、総、額、六、百、三、十、四、万、六、千、二、百、三、十、円、内、訳、的、に、申、し、ま、す
と、農、業、手、賃、金、費、が、百、六、十、四、万、一、千、七、十、円、と、相、な、つ、て、お、り、ま、す。産、業、経、済、費
の、面、に、お、つ、た、す、れい、一、言、申、し、上、げ、た、の、です、が、御、承、知、の、よう、に、す、べ、に、裁、会、にお、け
かり、し、た、し、す、れい、レ、ス、ト、ハ、ウ、ス、の、建、設、を、お、つ、た、今、年、カ、ン、ン、お、り、ま、す。補、助、を
所、求、し、し、の、事、業、に、ご、さ、す、れい、なん、と、か、年、度、内、に、完、成、し、た、し、た、い、と
二、つ、レ、ご、さ、す、が、こ、こ、に、本、年、度、は、環、境、改、善、管、理、等、を、建、設、し、た、し、す、

へ強く二、三箇面の活用をせかりたいと思へてあるのやございます。御
 山周辺の一括しがいとか将来に対処しなすれいあの周辺を公園にしな
 いと、う予定はあつたわけやございますか。一の端とすれいレストハウス
 の建設を
 するわけやございます。天体あの周辺を所有地に飲体的にしなうと、うと
 ころが先程申しなすれい塵芥処理場^のが大体二千坪今度作ります。レストハ
 ウスを~~中心~~とすれい土地が大体三千六百坪程度あつたかと思へます。二
 も飲体的に整備しなすれい所有地にさすれいあつた、と、うことと、もう一つは柳山
 が大体三、四、五千坪程度あつたかと思へます。従なすれい五千から五千五百坪
 程度連続しなすれい所有地が、さるわけやございます。二の圃の整備を
 した、今着々さすれいあつたわけやございます。青年プールとかあな、は、ま
 児童用のプールとかあつた、と、等々を植込ん、り、しなすれい柳山を国民の
 ミヤンプ場に作り上げると、か、年次計画をもつてあの周辺を整理した、と、
 考へます。その、議案にあつたすれいも、さう、御指摘の面あな、は、又御意見
 等を十分出しなすれい戴、き、なすれいより、よ、立派な公園が出来上、るやうに、あ

願、申し上げる次第でございます。考え方としては、こればかりは繰り返すようにございまして、現在の塵芥処理場の他から柳山周辺を一括して公園化した、というふうに考えたいわけでもございまして、これに対しては塵芥焼却処理場ですけれども、今工事中の水処理の用地等に関連したとしても、恐らくの場所に設置するものがあると考えます。しかし、これは材料の端枳所等に運搬をとりまして御相談申し上げた上で、近代的な立派な塵芥処理場を作ると同時に、その過熱をし、水処理の方にのみ活用すること、が燃料の節約にもなりますし、理想的にはなかなかと考えます。現在、あの焼却施設もかなり壊れてしまっております。また釜のものの数が、一に福生から出る塵芥だけでは、処理が不可能のような状態でもございまして、従って、これからのことをありますけれども、本年度の事業費でも十分考慮させていただきます。都市厚生省の方にもお願をして、補助金等の他からなんとか、これは是非設置したい、というふうな考えをもつておりますので、当然あの周辺を全面的に公園化した、と考えたいわけでもございまして、農業

委員会の面にあさましうは先程申し上げましたようは百六十四万二千七百四十の予算の処置がござるわけでございますが委員としては御承知のようになん名職員が二名りの人件費及び管理経費等がござります。農業費にあさましうは百二十万二千七百四十前年度に比較いたしましたしうは八万八千六百二十円増に相なっております。この面にあさましうは本年度生活改善マニターの建設に伴うしうは生活改善指導費を新設し広く施設の効果的なようにしたいと思えております。その他は農業改良指導費五十二万五千円、病虫害駆除費が三十七万二千円等が計上されうあるわけでございます。又横道に話が外れたいりますすが生活改善マニターの関係で大体建設する二つの御うきは得うあるわけでございます。けれども現在事業がございますが大体四月二十日頃までは完成の予定しうあります。この生活改善マニターは是非とも青年会に利用させたいと思えてうあるわけでございますが先般現役の青年團がから大正十三年以来の男女全部を数時ばかりしうしう。現状の青年クラブは非常に老朽化しうしう緊急

状態にあります。その下を整備して、その生活改善センター
に初りがえたいと御相談を申し上げたのでございす。が幸いに
まじい。今までの男女諸君も非常は結構なことでございす。この結論が
い、かういふ面と平衡したまじい。現在建設中の生活改善センターは、
あつた面を利用し、もうひとつは、同様に、その主体というものは、青年団に、
の運営の他は、マ、い、さ、だ、い、と、こ、な、具、合、に、考、え、て、あ、り、ま、す。工、事、の、
ものは、千、足、以、上、に、進、行、し、て、あ、り、ま、す。大、体、目、下、に、完、成、す、る、わ、け、に、
い、ま、す。も、ち、ろ、う、今、申、し、上、げ、て、あ、る、農、業、関、係、か、ら、引、き、出、し、ま、す。の、生、活、
改善、マ、ター、は、も、ち、ろ、う、婦、人、層、も、十、分、料理、講習、の、他、に、も、利、用、し、ま、す。
う、こ、が、路、構、は、は、は、は、は、と、考、え、て、あ、り、ま、す。か、う、い、う、面、に、予、算、面、に、
あ、さ、ま、し、ま、す。も、若、不、意、を、用、い、て、あ、る、わ、け、に、
し、は、御、承、知、の、よ、う、に、充、足、し、ま、す。日、が、改、め、商、工、会、に、
非常、に、運、営、の、も、の、は、結、算、に、行、わ、れ、て、あ、り、ま、す。従、来、役、場、の、定、員、産、業、
課、に、お、い、さ、し、あ、つ、た、こ、と、も、相、当、商、工、側、の、方、に、仕、事、を、移、し、ま、す。い、う、

と商店側の便宜をはかり、金融の他の面にも、かなり、
も、た、く、今、後、の、商、店、街、の、移、り、変、り、の、臨、境、の、面、に、
い、い、か、な、け、れ、ば、な、ら、ぬ、点、が、多、く、あ、る、わ、け、に、
さ、ま、し、ま、す。も、不、規、模、的、の、い、わ、け、な、企、業、者、が、
か、と、考、え、ま、し、ま、す。都、市、計、画、に、付、随、す、方、面、も、
工、場、周、辺、に、集、中、し、ま、す。こ、こ、が、好、し、い、わ、け、に、
い、う、よ、う、な、面、に、も、商、工、会、の、運、営、に、対、し、
な、ら、ぬ、と、考、え、ま、す。当、初、予、算、に、計、上、し、
食、料、に、あ、る、と、考、え、ま、す。が、現、状、と、
に、入、り、あ、る、よ、う、な、面、も、あ、り、ま、す。町、の、補、助、金、
を、内、部、的、に、理、し、ま、す。こ、こ、に、は、な、ら、ぬ、わ、け、に、
ま、し、ま、す。今、後、の、商、工、会、の、進、行、と、い、う、面、に、
い、い、考、え、て、あ、り、ま、す。従、い、ま、し、ま、す。初、予、算、に、計、上、し、
た、八、十、万、と、い、う、補、助、

金に對しおしえももちろん今後適切な対策を講じたい、このことを御承知願ひたいと思ひます。主要な財産部給付策費は五万五百万円前年と比較し一、三千百万円の減になつておりますが都の補助金等の他を合算すれば減になつておられるわけもございます、観光事業費は八十四万八千八百五十円前年と比較し一、三万三千八百五十円の増になつておりますが先程申し上げましたように環境面に於きましては永田橋多戸橋の周辺を中心とし観光事業にも積極的な意をもつて今後おしえたいと思ひます。おのわけはござい、ます。いかに何かと御指摘があらかと思ひます。おのわけは、又御説明することになります。財産費におきましては紙額百三十四万九千四百六十円、三十四万二千八百三十五円の増になつております。前年牧場費に計上した職員退職給付金積立金の財産費に振替たことによる増加が今申し上げた支にあつております。その他は大体前年と同いふでございます。随分調査費は二万七千六百円でございますが二万九千三百円の増になつております。学校の基本調査費とかあり、これは先程申し上げました商工関係、おの、は、又人口の動態とか農林水産等あらゆる統計の経費を計上

してあつたわけはござい、ます。選挙費にあつたおしえも百六十六万二千五百円になつておりますが選挙管理委員会費は五万八千円、前年と比較し一、六万六百万円の増でございます。選挙管理委員さんは四名補充員が三名、これが報酬を主体とした委員会の経費でございます。本年は、い、う、と選挙が予定されておりますがまだ都知事おの、は、都議会議員の選挙におの、は、費用に對しおしえは六十六万三千四百円、又町議会議員の選挙費が三十五万七千二百円計上されておられるわけはござい、ます。もう一つ農業委員会、委員が本年任期満了になり改選が行われるわけはござい、ます。おの、は、對する選挙費は二万六千六百円等が選挙費の紙額でございます。公債費の紙額が六百八十三万九千七百三十四円前年と比較したおしえ二百五万三千五百十円増になつております。三に示され、ておりますとあり、建設、建設、町営住宅の建設、河川処理場の建設、消防施設整備、各事業体の元金、利息及び借入金増分は小学校の用地買収債の元利償還金として借入金、利息の増でございます。公債費の面が以上でございますが諸君、お金の紙額、千三百五十三万一千四百四十円、前年と比較したおしえ、百五十二万四千四百

の減にたすあります。主な理由は牛込駅の負担の解決と同時に熊川
停留所の負担金等に関係いたしました。微積費が二百六十三万
一千七百四十円計上してございます。これが賦課といたしまして都税の徴収率
が百四十二万七千五百円あり、他としましては個定資産評価審査委員
会費あり、また監査委員会等もござります。加へて外費が十四万九千九百
二千五百円の増でございます。この外費にあつたもので申し上げますと、
日本親善委員会、治安委員会、その他連絡協議会等の渉外目的の諸経
費を計上した次第でございます。賦課金が二百三十五万。前年に比較して
一八万九千九百九十九円あります。賦課といたしまして寄附金三百万円、他
財産会計分十五万、国保会計分が二百二十万、水道会計分が三百万、区画整
理事業会計分が二百万計上いたしました。前年に比較して一八万九千九百
九十九円あります。前年同様各種負担金を計上いたしました。前年
の減にたすあります。

東京都西多摩郡福生町役場

と比較して一八万九千九百九十九円あります。賦課といたしまして寄附金三百万円、他
財産会計分十五万、国保会計分が二百二十万、水道会計分が三百万、区画整
理事業会計分が二百万計上いたしました。前年に比較して一八万九千九百
九十九円あります。前年同様各種負担金を計上いたしました。前年
の減にたすあります。主な理由は牛込駅の負担の解決と同時に熊川
停留所の負担金等に関係いたしました。微積費が二百六十三万
一千七百四十円計上してございます。これが賦課といたしまして都税の徴収率
が百四十二万七千五百円あり、他としましては個定資産評価審査委員
会費あり、また監査委員会等もござります。加へて外費が十四万九千九百
二千五百円の増でございます。この外費にあつたもので申し上げますと、
日本親善委員会、治安委員会、その他連絡協議会等の渉外目的の諸経
費を計上した次第でございます。賦課金が二百三十五万。前年に比較して
一八万九千九百九十九円あります。賦課といたしまして寄附金三百万円、他
財産会計分十五万、国保会計分が二百二十万、水道会計分が三百万、区画整
理事業会計分が二百万計上いたしました。前年に比較して一八万九千九百
九十九円あります。前年同様各種負担金を計上いたしました。前年
の減にたすあります。

上面も御う承戴された、おつに考へるもの、ござります。一般会計の面にお
 きま、レ、先程から申し上げ、た、の、ござります、が特別会計の面から、一、た、
 証し申し上げ、いた、を、存じます。特別会計のうち、水道事業関係、ござります
 が、概算、その、その、年度の、概算、水道事業会計、予算、これは、水道事業の
 会計も、独立の、採算、と、昨年、から、充足、いた、し、ました、着、又、水道、の、り、つ、あ、る、の、
 あり、ます、が、町の、水道、は、昭和、三十九年、四月、給水、が、開始、され、以、来、順調に、進展
 し、た、り、し、た、。、い、は、ひ、と、之に、諸、先輩、職員、諸、氏、の、努力、と、御、支援、の、賜、もの、と
 存じ、深く、敬意、を表、する、次第、と、ござ、ります。、お、かげ、を、もち、し、て、本年、の、異、常、な
 好、過、水、期、に、お、き、ま、し、て、不便、を、かけ、る、こと、なく、又、二、三、数年、来、消、火、器、及、び、伝、染
 病、の、発生、も、激、減、し、て、い、た、こと、も、この、水道、の、普及、に、よ、る、もの、の、一、の、効果、は、誠に
 多く、は、かり、知、れ、は、もの、が、ある、と、存じ、ます。、拡張、工事、も、三十七、年度、を、も、つ、時
 期、に、区、画、整理、事業、の、視、行、に、より、さらに、大きく、発展、する、所の、進展、に、歩、を、合、せ、ま、し
 一、次の、拡張、事業、を、行、いた、と、存じ、て、おります。、昭和、三十八、年度、の、予算、に、つ、いて
 は、事業、計画、に、示、され、て、ある、通り、に、給水、戸、数、も、前、年に、比、べ、い、大きく、増、進、し、て、お

りますが職員は現状のままでし、出来を限り経費の節限等にも掛け入る事を考へてあります。給水戸数の加入数も大体十%を越え、事業収入のほとんどが料金収入であることは申し上げるまでもなく、このようにします。収益的支出については、燃料金の改定を見込んで損益等とがよいあります。経常事業中主なもの、人件費、減価償却費、起債、利子及び電力料金等、これが費用の八十五%を占めておられるのであります。設備投資については前年より本年度は一応拡張事業を打ち切り、いたしまして、ために資本的支出は前年に比較して大幅に削減されております。水道事業は御承知のとおり公営の事業でありますので、一応公営企業法にのっとりまして、運営の合理化をはかり、独立採算性を堅持しつつ、公共の福祉を増進して、いかなければならぬことは、常に肝に命じてまいり、今後とも堅実な運営をはかろうと存じております。何ぶんにも御協力をお願いする次第であります。予算の内容も逐次申し上げてまいりたいと思っておりますので、大要だけを申し上げます。次に国民健康保険特別会計歳入歳出予算の大要説明

を申し上げたいと存じます。予算にありまうは歳入面が三千七百五十八万九千六百円計上されいあります。国民健康保険この事業の運営につきまうは運営協議会の皆様方の御協力を得まうは円滑なる運営がなされいあります。ことを表しより御礼申し上げます。国保の予算編成の基本方針は療養給付の関係と事務費の関係に大別されいおわけいございます。療養給付に關する費用はもちろん保険料と国及び都の療給付補助金をもうはありおわけいございます。このうち予算の基礎数字を申し上げますと被保険者数千九百二十世帯、天体二千三百人、受診率世帯主三十五%、家族が三十四%と相なりあります。三歳が一軒当りの費用額は、婦主が二千五百円、家族が千四百円、保険料一世帯あたり五千九百三十九円、一歳が一人当り千五百六十円と相なりあります。科目別に歳入から大まかなものを申し上げますと千四百二十二万三千円、前年に比較したれまうは、百四十六万三千円の増へございます。これは被保険者の増によるものいございます。国庫支出金千九十九万一千円、前年に比較したれまうは、百三十九万二千円の増へございます。療養



給付費の増加に伴う面いございます。都の支出金が百六十三万九千四百円、三千七百四十万円の増繰り入れ金二百二十八万円、前年同様繰越金百三十三万円、前年に比し百三万円増へいございます。この使用料手数料、雑入金等を合せい歳入合計三千七百五十八万九千六百円いございます。歳入歳出は以上い合せいおわけいすか、歳出の主なものお申し上げますと、役場費が二百十五万八千三百六十五円、保険給付費が二千三百三十万六千五百円、保険施設費、百万九千二百六十円、支弁金八十七万三千三百十円、このらび公債費、予備費等の歳出合計が三千七百五十八万九千六百四十円に相なるわけいございます。国民健康保険の歳入歳出に對しれいの大要だけを申し上げます。特別会計のうち公益質屋の歳入歳出の予算はつぎまうは、申し上げますか、公益質屋の特別会計の予算はつぎまうは、改めい申し上げるまうは、福生町公益質屋事業は、開始れい、以来ちうと十年ありにたりますか、ちうも順次減額になりあります。これは経済が安定れい参りましたのに對し、利用

者か横ばいも込ふいおなと、うことを言えりわけにございます。公益質屋も全般的にけうした面もありかんげくがないようにございます。住民福祉の面から大いに活用せしむることを願うものにとございます。要するにあまりはなはたしく発展するよりも警察としいはむしろよ、のいはないかと思ひます。か運営費のものはどうも減退か横ばいになりようにとございます。しかしながら運転資金は一月一日現在で三百万一千五百十五円をもつて運営し、このうち都と郵政省の購入金、米償還の元金は三十六万九千五百五十二円であつて、目録資金とすることになり、おろわけにございます。項目別に歳入から申しますと、質屋収入七百八十万、前年比で四十一万二千円増、貸付金の回収金と利息の増になり、おろわけにございます。繰越金が八十万円、二十万円の減、繰入金が一十五万円、これは前年と同様にとございます。その他にも物品売却、代金二十六万三千円、雑収入二万円を合せて、歳入合計九百三十三万三千円となり、あります。歳出におろし、事務所費八十三万二千八百九十円、前年に較

べたしおしへ十四万二千五百六十円の増へございます。人件費の増へござい
 ます。事業費は百九十五万前年に比較しへ三万円の増。公債費二十四万八千
 百円。六千五百の減繰入れ金の利息の減下ございます。その他に雑支出三千
 円。準備費十円を合へて歳入合計九百三万三千円。歳入歳出とも前年に
 比較したしおしへ十六万二千円。一増とござります。大要はございま
 す。が質屋の合計面の現在のあり方を申し上げたわけはございます。次に
 議案第三十七号と場所別会計の歳入歳出予算はござります。歳入にあま
 ましたへ千八百二十八万円が計上されへります。福生の場合は御承知のよう
 に昭和三十三年の開教以来毎年大体七十万から百万程度の金額を一般会計
 から繰入れへておる赤字経常がござります。このへございます。が特別会計
 へ公営企業としての性質上税金を収分をおります。この事業面についてまへも
 校へレイのなところとは独立採算制を原則とする立場からもあり好し
 いものへはございます。又、昭和三十三年から経費の節約と、うち大に極力

